協調會 丁 第 号
227
12.5.2 大正 年 月 日收

八時間勞働の要求につき社會公衆に訴ふ

八時間要求運動の經過

日本印刷工組合たる我が信友會が今回八時間勞働制を要求して、此の文明的制度の爲に奮鬪しつゝあるのは、新聞紙の報道に依つて各位の既に御承知下さる通りであります。我々は平生から「勞働の八時間!!休養の八時間!!教育の八時間!!」を以て標語と爲し、國際勞働規約の根本精神に從ひ、決して單なる商品にあらざる我が勞働の權威を發揮せんと努めてゐる者でありまして、今回の要求は實に其の第一歩であります。然るに資本家側の我々に對する態度は實に非理不法を極めたものでありまして、其の結果、事態は徒らに紛糾を增大しつゝある現狀でありますが、試みに我が組合員が各工場に於いて要求し行動しつゝある事實を列擧すれば、凡そ左の如くであります。

▲三秀舍　一、八時間制(食事時間を含む)。二、殘業は三時間を限度とす。三、婦女工、幼年工は六時間制の事。四、十一月度(即ち十月廿六日)より右實行の事。此の四個條を以て我が代表委員より舍主に交涉したが、舍主は印刷同業組合の決議を楯にして毫も之に應ずるの意を示さず、此に於て我が組合員は止むなく罷業を決議し、舍主を工場に案內して機械工具の檢査を求めた後、一同靜肅に退場し、今猶ほ引續き罷工中である。

▲三省堂　八時間制及び婦女幼年六時間制を要求した事は三秀舍に同じく、別に七十錢を最低限度とする賃銀値上を要求したが、數回折衝の末、成年工三十五錢、婦女工二十錢の値上で賃金の點だけは解決された。然るに時間制の問題については、會社側は何等の明答を與へず、依つて我が組合員は十月廿九日、工場監督佐分利、藤澤兩氏と合意の上一日の休業を爲し、雙方熟考の機會を作つたが、會社側は其翌三十日より臨時休業を宣し、更に卅一日を以て工場員全部に解雇狀を交附した。

▲博信堂　八時間制を實施すれば、寧ろ資本家側に大なる利益がある。(一)勤務時間の確實。(二)長時間勞働の必然的倦怠から生ずる機械器具の減少。(三)同じく心身の疲勞から生ずる自然業務澁滯狀態の一掃。同じく原料濫費の防遏。同じく工場各種費用の除去。故に八時間制は必然的に從來の長時間制と同樣(若しくはそれ以上)の能率を擧げる事になる。猶ほ資本家の希望に依り多少の殘業は之を承引するの雅量を有す。

▲築地活版　吾人の要求は正義人道を根本とす。心身保健及び生產能率の上より見て、八時間制の當然は論を俟たず。然るに會社は何等具體的の說明もなく吾人の要求を拒絕し、剩さへ吾人の生活を脅かすべく工場を閉鎖したり。吾人は默々として此の運命の下に餓死するに忍びず。

▲愛善社　我等活版工の健康狀態を見るに、諸種の呼吸器病に犯され居るもの實に十中の九を算す。是れ主として、密閉せる工場內の惡空氣中に於て長時間に亘る過度の勞働を爲すに因れり。故に我等は八時間制に依つて健康を回復し、從來の十時間制以上の能率を擧げんことを期す。

▲宮木印刷　要求は大體に於いて他所と同じく、資本家側の之に應ぜざることも亦他所と同じく、目下止むを得ず自然の罷工狀態に陷り居れり。

八時間制と殘業との關係

大體の形勢は右の通りであります。つまり我々の要求は、正規の勞働時間を八時間(食事時間三十分を含む)とし、婦女及幼年工は六時間とし、別に殘業三時間とし、其の殘業中、二時間は普通賃金、最後の一時間は倍增しにしたいと云ふので、少しも無理のない要求だと信じて居ります。世間には、殘業があるのでは八時間制も無意味だといふ說がありますが、それは事情に通ぜざる說であります。現在では一般に十時間制で、外に三時間位の夜業があるのですから、我々の要求は矢張り實際上に二時間位の短縮になるのです。殘業の廢止は固より我々の切望する所ですが、現在十三時間以上の勞働を直ちに八時間に短縮しては、謂ゆる產業破壞の恐れがあるので、我々はそれを顧慮して當分三時間の殘業を承認するのであります。そして準備が整ひ、時機が熟した時、初めて眞の八時間制を實現したいと願ふのであります。又現在と雖も、一年中を通じて每日殘業の必要があるのでは無いから、其の場合には、直ちに八時間制の效果が獲得されるわけで、兎にかく此際八時間制の原則を確立する事は多大の利益であります。然るに、殘業があつては八時間制は無意味だ、それ程ならば寧ろ殘業の全廢を主張せよなどゝいふ說が、却つて資本家側から主張されるのは、實に奇怪千萬であります。彼等資本家は單に斯樣な遁辭を以て巧みに我々の要求を採みつぶさうとしてゐるのであります。

婦女及幼年の六時間制

又婦女及幼年工の六時間制に關して、其の不可能を說く者がありますが、現に婦女及幼年工は法律上の保護職工であつて、成年男工が從來十三四時間の勞働を爲し居るに對し、十二時間以上の勞働を禁じられて居る者でありますから、成年男工が八時間制となれば彼等も亦た從つて六時間制となるべきは、洵に當然の事であります。之に對して異議を唱ふるは實に工場法の精神に背く者であります。

日本印刷工組合信友會々員名簿

大正十二年二月廿八日現在(◎は十二、一ヶ月分會費領收 □は新入會員 ×は病氣 △は兵役)

●京橋區

▲アドヴァータイザー社
(歐文科)
◎水沼 辰夫　◎杉崎國太郎　◎大川 龜作
◎高田 公三　◎美濃部正次
(印刷科)　◎吉澤 健吉
(リノタイプ科)
◎大石 米三　◎深瀨長五郎　◎福田 唯一
◎石田忠太郎　◎田村 幸七　◎前田 貞義
◎S Y 生　◎岡野 勝次

▲合資會社東京國文社
(歐文科)幹事
○小野正太郎　○露姫宗 誠　○能島於兎吉
○長谷川重太郎　○海野志郎　△堀內 健
○大西德太郎

▲株式會社中屋印刷所
(歐文科)幹事　石川 三雄
◎南雲錠太郎　◎杉田松五郎
◎前田 正平　○關根六之助　◎石川 三雄
(和文科)
相羽忠七郎　◎北澤 武一　◎風間 英治
(文選科)幹事　高崎 岩吉
◎高崎 岩吉　◎三澤金太郎　◎大野 末吉
◎高橋眞太郎　◎柿沼莊一郎　◎藤方貴世七
◎北村 兼松　○林田龜太郎　高橋 幸吉

▲福音印刷會社
(歐文科)幹事
□山口 泉造　□野村 喜市　×松田十九二
□石田 九藏

▲大倉印刷所
(歐文科)幹事　波多野義次
波多野義次　笠井 一　木原誠一郎

▲文 祥 堂
(歐文科)　◎菅谷 高市

▲英文通信社印刷部
(歐文科)
◎鈴木 丈一　◎紫田 向保

▲電 新 堂
(歐文科)　◎品山 八郎　◎野村 友吉

▲相川印刷所
(歐文科)
伽 次郎　◎白井 平十　中山 立身
◎木村 淳三　○杉谷 利雄

▲共 榮 社
(歐文科)
◎五十子鶴吉　◎大島 義雄

▲日清印刷會社
(文選科)　◎立川 清

▲大西印刷所
(歐文科)　◎岸田龜之助

▲三間印刷所
(歐文科)　志村 兼周

▲明正印刷會社
◎清水 千松　◎西山 龜吉　◎宇治 秀三

▲千代田印刷株式會社
◎小林治三郎

▲大和新聞社
◎塚澤

●日本橋區

▲每夕新聞社臨時部
(和文科)
○岡澤 曲川　鈴木源之助
○保田 萬吉　◎山岸 光子
(鉛版科)
◎坂口 喜一　◎松浦 秀介　◎島田芳太郎
(印刷科)　◎小野源之助

▲日本橋印刷所
飯澤 竹松　三宅 天夫

●神田區

▲三 秀 舍
(歐文科)幹事　石井 武明　梶川 均一
◎宍戶林太郎　◎今井庄之助　◎石井 武明
◎無 名 氏　◎岡見松五郎　◎小野 光敏
◎渡邊 一郎　◎山田音之助　◎伊藤覺太郎
◎梶川 均一　◎宮田 榮造　◎金谷德太郎
◎平田 鐡雄　○河合 幸吉　◎山本 良治
◎鈴木 操
(解版科)　小澤 クリ　山本 ヨシ

▲株式會社三省堂印刷部
(歐文科)
◎柴田 宜要　◎宮田 寅吉　◎佛原 右一
◎馬場 幸雄　◎佐藤 權八　◎金子 豐吉
◎前田 藤作　◎山田 眞明　◎正田忠太郎
◎高畑 得次　□吉田 定三　◎青山菊治郎
(印刷科)　◎高橋 宗直　◎本田 治平
◎中川德太郎　◎川崎龜太郎　◎余鄉 義信
(文選科)　◎鈴木朝次郎
(解版科)　□池田 ナミ

▲文 明 社
(歐文科)
◎戶木 儀實　○小倉 龜吉　◎赤川 慶貫
○加藤龍三郎　○石井德太郎　◎中川 政二
(文撰科)　◎高野 治郎　◎清水 繁次
○木村 寅吉

▲有 朋 堂
(歐文科)
◎前田 實松　◎增田 教之助　◎河內 啓藏
◎大館 鋹三　◎鈴木 愛助　◎永井 鉎造
◎中島 光雄　◎立田 泰　◎川島 元治
◎大山 卄三　◎蒲沼 清吉　◎土井 伸治
(解版科)　□Y H子　□後藤 菊子
(文選科)　◎宇野 吾作　◎松尾要四郎

▲共 榮 社
◎加藤 昇吉

▲博進堂印刷所
(和文科)　◎入澤吉次郎　◎林 勇三郎
◎龜井 守一

▲健 捷 堂
(文選科)
◎小島 初枝　◎小寺 よし

▲成章堂印刷所
○古瀨 政一　○和澤 重雄　○大岩由太郎

▲中外印刷株式會社
□鈴木 秀吉　□江幡淳一郎　□宍倉 素平
□秋野彌之助　□內田信三郎　□鈴木彥太郎
□渡邊 常男　□堀 繁次郎　□北川京三郎
□大畑 照男　□林 秀丸　□中村 治清
□磯部 定親　□關根 新　□永瀨 照顯
□土肥 榮二　□加藤 定子　□宇川 靜江
□片山 喜長　□飯島與三郎　□松田 重威
□新井 富造　□松浦久二郎　□佐久間 健

●深川區

▲東京印刷株式會社深川分社
(歐文科)
◎粟山祐太郎　△越山 守一　◎木下 直介

◎石井 繁藏　◎鈴木文次郎　◎大塚 直吉
◎曾雌 朝雄　◎山崎 芳男　◎山口 孝吉
□山上林太郎　□石崎 信吉　□鈴木 正龜
□清水 國光

●本 所 區

▲西版印刷株式會社
(歐文科)　五十嵐信吉　田中康之助

●芝 區

▲日本興業印刷株式會社
(歐文科)幹事　佐野 金次　◎土谷 文雄
◎横田 敏雄　◎佐野 金次　◎矢野喜次郎
◎落合斯三郎　○高橋孫次郎　黑川 謙次
◎淺子寅三郎　日吉 春雄

▲東洋印刷株式會社
(歐文科)　○佐久間仙次　○宮崎 捨夫
(和文科)　○鎌田 政尙
(印刷科)　○高橋重太郎　○服部幸之助

▲南商會印刷所
(歐文科)　井戶田鐵吉　河越 義長

▲人 洋 堂
(歐文科)
天野 側夫　田中芳太郎　◎佐竹 柳作
◎志田 操　◎堀口 源松

▲大高印刷所
○齋藤政太郎

●麴 町 區

▲ジャパンタイムス株式會社
(新聞科)　◎久保田耕三　◎松崎 春諦
◎重岡清三郎　◎吉川 正吉　春田 捨吉
(リノタイプ科)
◎砂川潤一郎　◎石本米次郎　◎梅澤吉之助
◎武內 藤一
(ジョブ科)　◎杉本 清一　鈴木 重次
◎金子廣三郎　山下英太郎
(文選科)　◎神保 貞一　◎松本萬之助
(印刷科)　◎吉住 敦